

# I. 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 24 年 1 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 23 年 10 月～12 月期の実績および平成 24 年 1 月～3 月期の見通しについて調査した。

## 2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

## 3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	21 社	70.0%
水産業部会	30 社	14 社	46.7%
機械工業部会	30 社	19 社	63.3%
建設業部会	30 社	20 社	66.7%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	17 社	56.7%
合 計	150 社	91 件	60.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

## Ⅱ. 概況

—業況はやや改善・来期は大幅な悪化見込み—

### 1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成23年10月~12月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比では△30.3**と前回調査時の△43.9より**13.6ポイント改善**しました。大きく改善した原因は、全業種のDI値を見てみますと、水産業の大幅改善と建設業の稼働期による改善の効果で全体的なトータルで改善傾向になりましたが、他の業種は-40ポイント台と低調のままであり、次期見通の数字を見ても、市内経済を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いていると思われます。

部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前期△13.3→今期△42.9]、水産業[前期△21.4→今期△7.1]、機械工業[前期+18.2→今期△47.4]、建設業[前期△37.5→今期△10.0]、観光・サービス・諸業[前期△42.1→今期△41.2]となりました。今回の調査では、水産業が改善しており、鮭の魚価上昇やホタテが順調だったこととイカが豊漁だったことなどが考えられます。また建設業も改善しているが、夏場の工事期で仕事がまわったことから数値回復しているようです。他の業種は、引き続き業況悪化が続いている状況です。

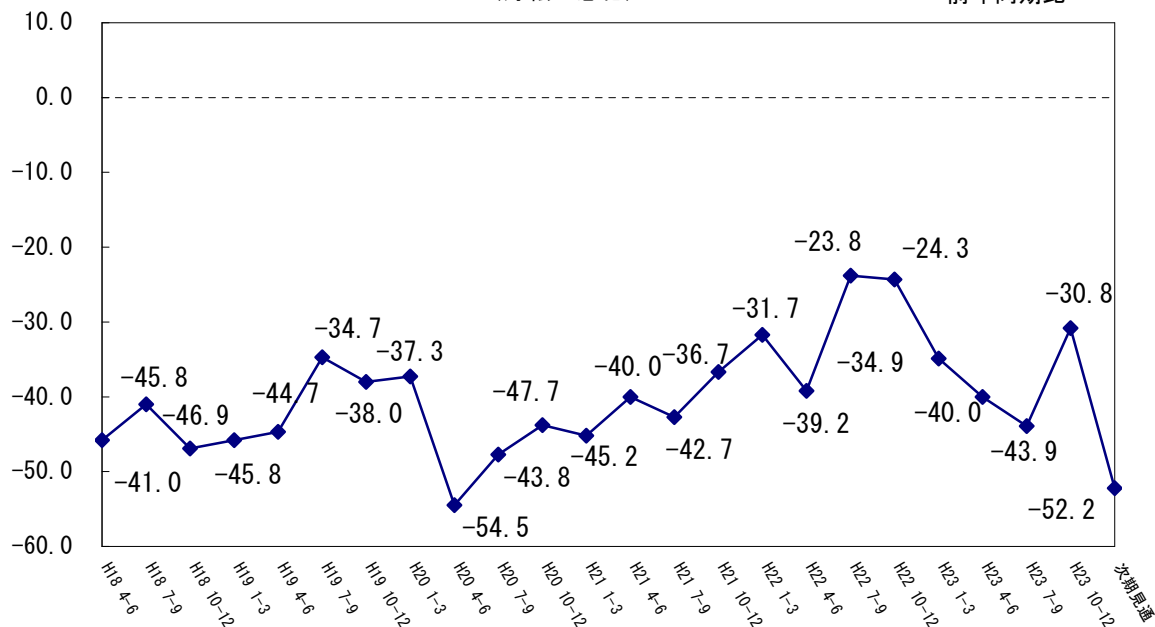
**次期(平成24年1月~3月)**については、全体では今期と比べて**業況判断DIが21.4ポイント悪化(次期見通し△52.2)**するとの予測となっており、機械、建設・観光サービス諸業の業種において業況指数が-50ポイントを超え悪化するとの見方が非常に強まっており、年度の終わる3月まで内容の厳しい状況が続くものと思われます。平成23年度は廃業・倒産の動きがほとんど見られないのに、市内金融機関や政策公庫の借入は低調で推移しており、借り入れせずになんとか我慢している状況が窺えるため、当所としては来年度以降の経済状況を警戒し、会員事業所調査を継続し、今後の動向について引き続き注視していきたいと思えます。

## 業況推移

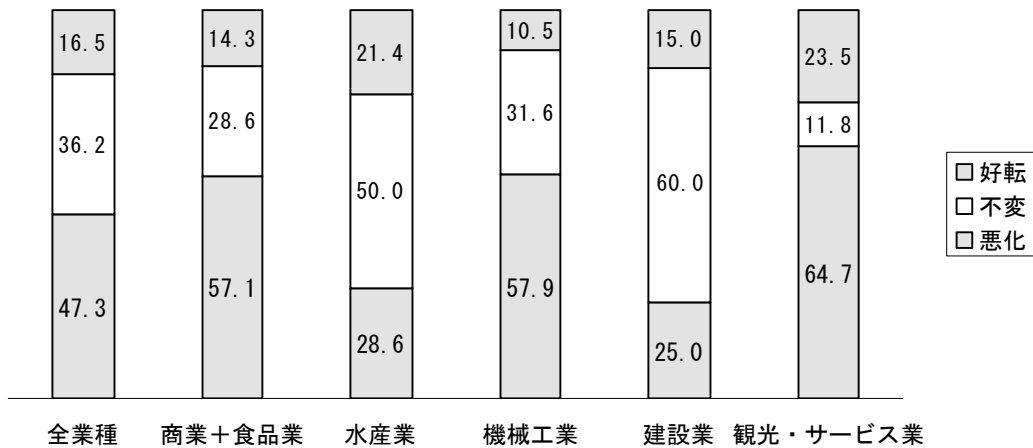
(全業種平均D・I)

(好転-悪化)

前年同期比



## 今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、「**需要の停滞**」を訴える声が多く寄せられており、人口減の心配や高齢化社会の不安を訴える声も増えています。

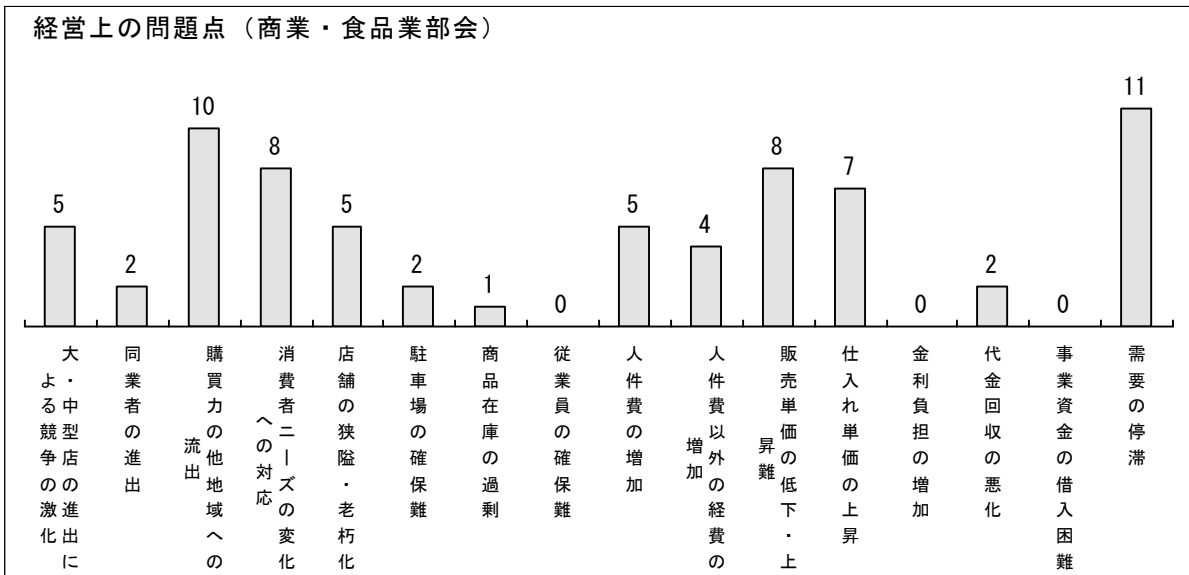
### ■部会別の動向

**【商業・食品業部会】**〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 42.9$ （前期 $\Delta 52.6$ 、来期見通し $\Delta 38.1$ ）〕

業況DI値（前年同期比）は、依然厳しい状況で推移しています。年末商戦に期待していたものの業況は横ばいという結果でした。次期見通しとしてはほぼ横ばいの指数予想となっております。経営上の問題点としては「**需要の停滞**」「**購買力の他地域への流出**」「**消費者ニーズの変化への対応**」「**購買単価の低下・上昇難**」を訴える声が多くなっております。

#### 《業界の問題点等》

- ・中心市街地？…では、店頭の雪山の為、駐車スペース確保がこの冬一番の問題である。（小売）
- ・我々の業種のデジタル化はスピード早く、それに対応出来ないと将来は大変だと思います。少しずつ研究して将来に備えたいと考えています。（小売）



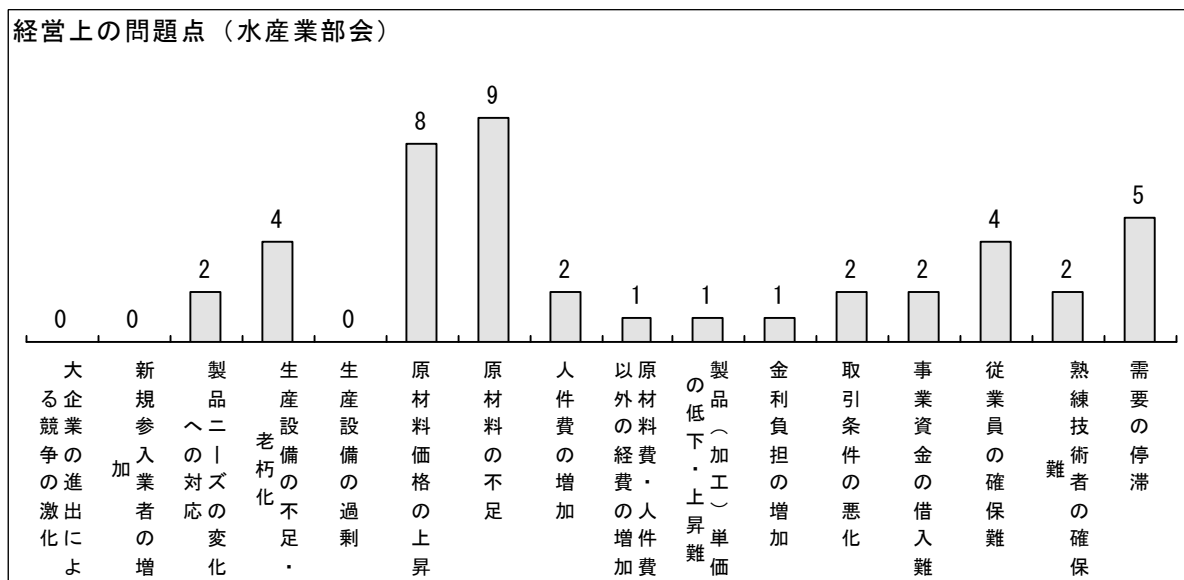
**【水産業部会】**〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 7.1$ （前期 $\Delta 31.3$ 、来期見通し $\Delta 35.7$ ）〕

業況判断DI値（前年同期比）は24.2ポイント大幅改善しています。大きな要因としては鮭の魚価単価が上昇したこと（漁獲量は昨年よりも減）やホタテの水揚げが順調に推移し好調だ

ったことや、イカの水揚げが予想外の好漁で浜は活気づき漁獲高も非常に高くなりました。反面、魚価の上昇に伴い、水産加工業者の仕入れ値の上昇による収益の悪化やカニの手配が全くつかず、原料不足の状態になったりと厳しい面もありました。経営上の問題点としては「原材料の不足」「原材料価格の上昇」を訴える声が多くなっており、来期の見通しは、さらに悪化するだろうとの見方が強いです。

### 《業界の問題点等》

- ・ 原料不足（水産加工）

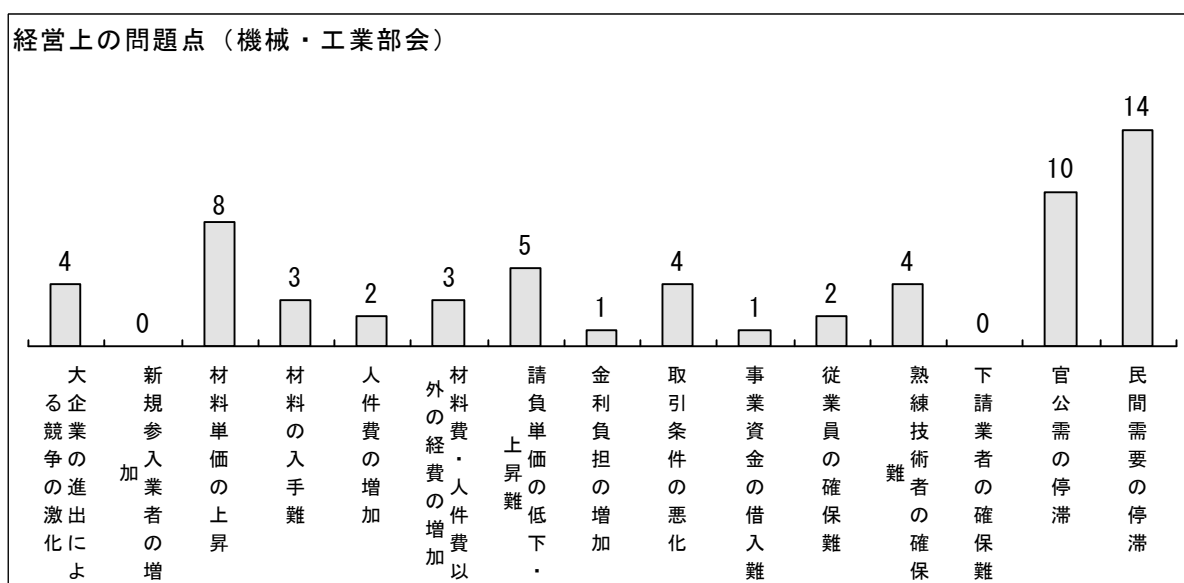


### 【機械工業部会】 [業況判断DI値（前年同期比）△47.4（前期△66.7、来期見通し△55.6）]

業況判断DI値（前年同期比）は、前期比で19.3ポイントの改善ではありますが、業績内容は悪いまの推移であり、非常に厳しくなっています。来期業況見通しは△55.6と悪くなるだろうとの予測ですが、エコカー補助金やエコカー減税の効果による今後の自動車業界の動きには今後注目していきたいところです。経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「官公需の停滞」「材料単価の上昇」を訴える声が多くなっており、

### 《業界の問題点等》

- ・ 熟練技術者の確保難。（鉄工業）
- ・ 若手の育成。（鉄工業）

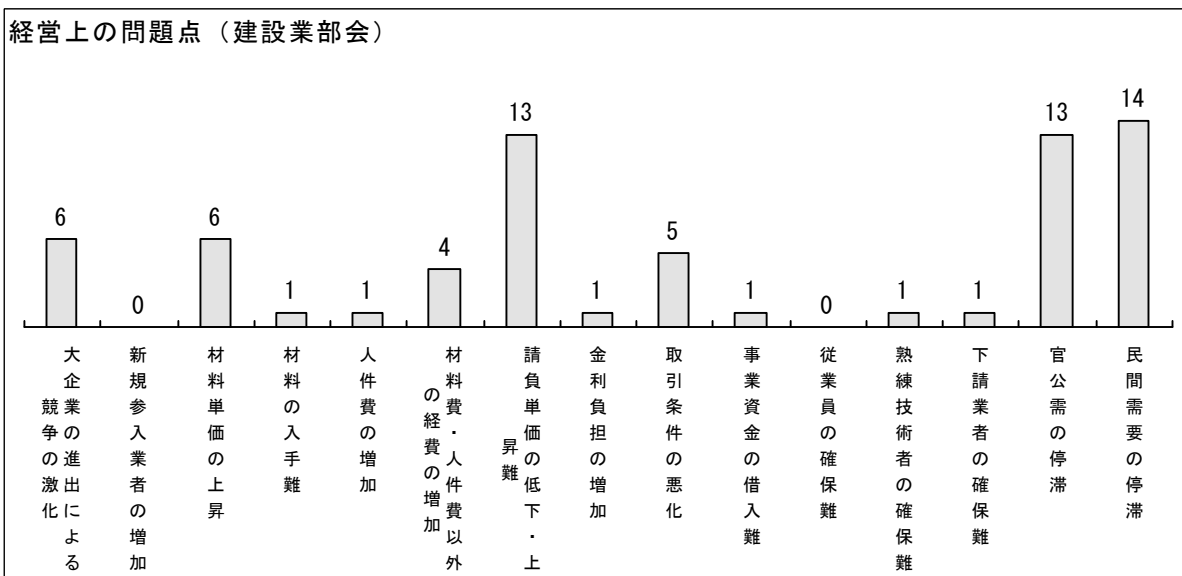


**【建設業部会】** [業況判断DI値(前年同期比)  $\Delta 10.0$  (前期 $\Delta 17.6$ 、来期見通し $\Delta 70.0$ )]

業況判断DI値(前年同期比)は前期比7.6ポイント改善しています。前期の予測よりも業況指数は改善しており、夏場の工事期に入り業況が良かった状況になったと思われます。経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「官公需の停滞」「請負単価の低下・上昇難」を訴える声が多くなっております。来期は極端に仕事の少ない冬期を迎えることもあり、見通しとしては大きく悪化するとの見方が強くなっています。

**《業界の問題点等》**

- ・ ①公共事業の激減 ②先行きの不透明感があり、設備投資や住宅建築の手控え、様子見が感じられる。(建設)



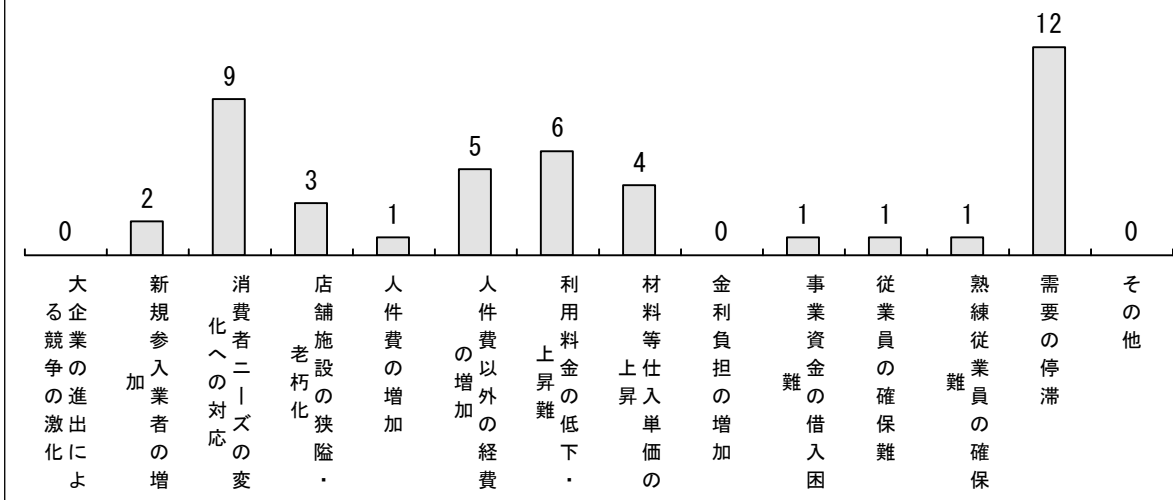
**【観光・サービス部会】** [業況判断DI値(前年同期比)  $\Delta 41.2$  (前期 $\Delta 27.8$ 、来期見通し $\Delta 58.8$ )]

業況判断DI値(前年同期比)は前期よりも13.4ポイント悪化しており、景気の悪さを反映している数字だと思えます。震災後の秋口の状況が非常に悪く忘年会シーズンには少し持ち直したという話も聞きましたが、全体として業況内容は依然としてよくないものとなっています。経営上の問題点としては、「需要の停滞」「消費者ニーズへの変化への対応」「利用料金の低下・上昇難」などを心配する声が多くなっております。来期の見通しもあまり良くない状態が続く予想ですが、本格的な流水シーズン到来で観光客などの入り込みを期待したいところです。

**《業界の問題点等》**

- ・ 話題性のある商品や新メニューなどを同業者と共同で取り組み、売上に結びつける様にしたい。(過去の例としてホワイトカレー等)市観光課や貴所の協力が必要と考えます。その継続の努力が大事と考えます。(飲食業)
- ・ お客様に対して値上げをする事も今出来かねている状態。材料費は上昇していますので、これから消費税等が上がっていくと仕事として、喜べないです。国的にも余り良い事ではないと。(飲食業)
- ・ 消費税増税、年金の将来減少等の不安から消費意欲の減少。人口減と高齢化による市場の減少。(サービス業)
- ・ 諦めずに努力をして好転を待つ。(運送業)
- ・ 何より頼みの流水が昔の様に大接岸してくれることを祈るばかり。(飲食業)

経営上の問題点（観光・サービス業部会）



2. 今期の動向

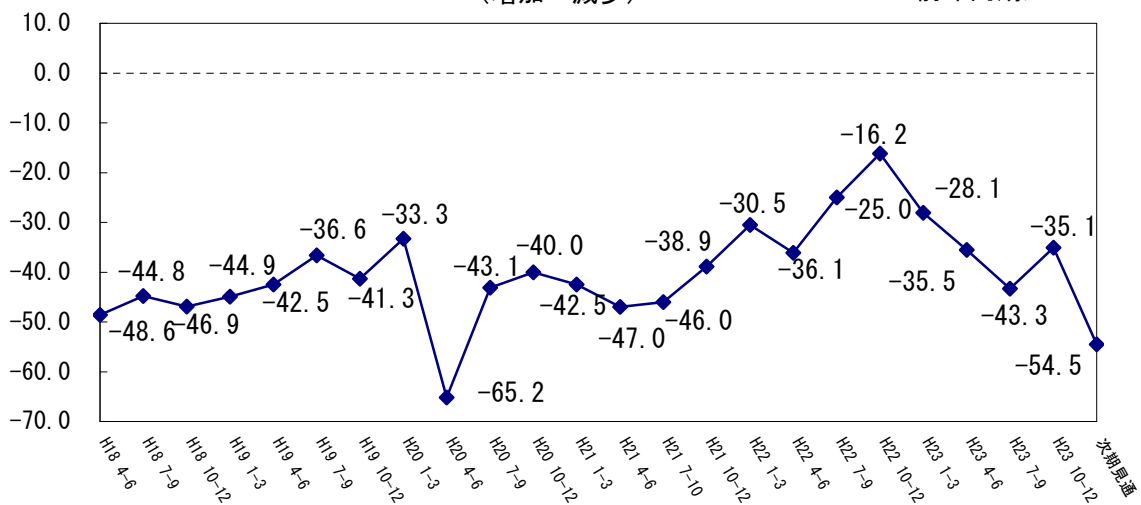
(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成22年10月～12月期の水準と比較した今期の売上高）

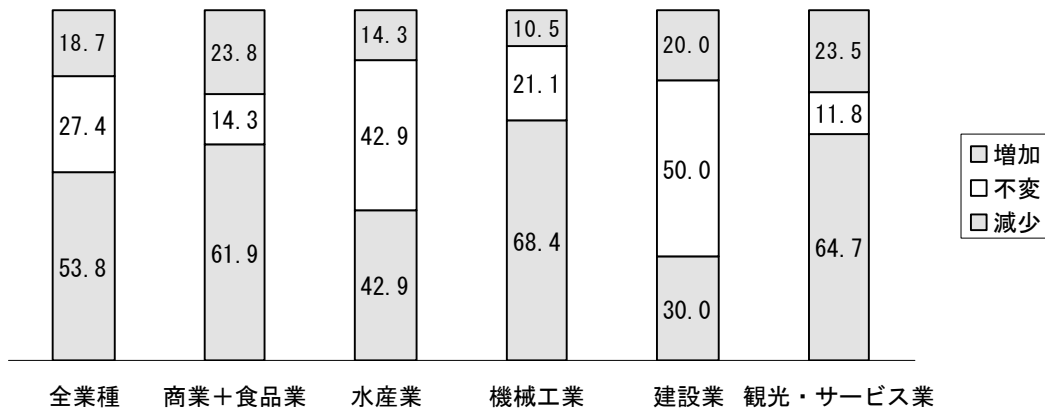
売上状況（全業種平均D・I）

（増加－減少）

前年同期比



### 今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値 $\Delta 35.1$ 〔前回調査時(平成23年7~9月期 $\Delta 43.3$ )より8.2ポイント改善。〕  
建設業が大きく改善。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回 $\Delta 20.0 \rightarrow \Delta 38.1$ 〕、水産業〔前回 $0.0 \rightarrow \Delta 28.6$ 〕  
機械工業〔前回 $45.5 \rightarrow \Delta 57.9$ 〕、建設業〔前回 $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 10.0$ 〕  
観光・サービス業・諸業〔前回 $\Delta 47.4 \rightarrow \Delta 41.2$ 〕

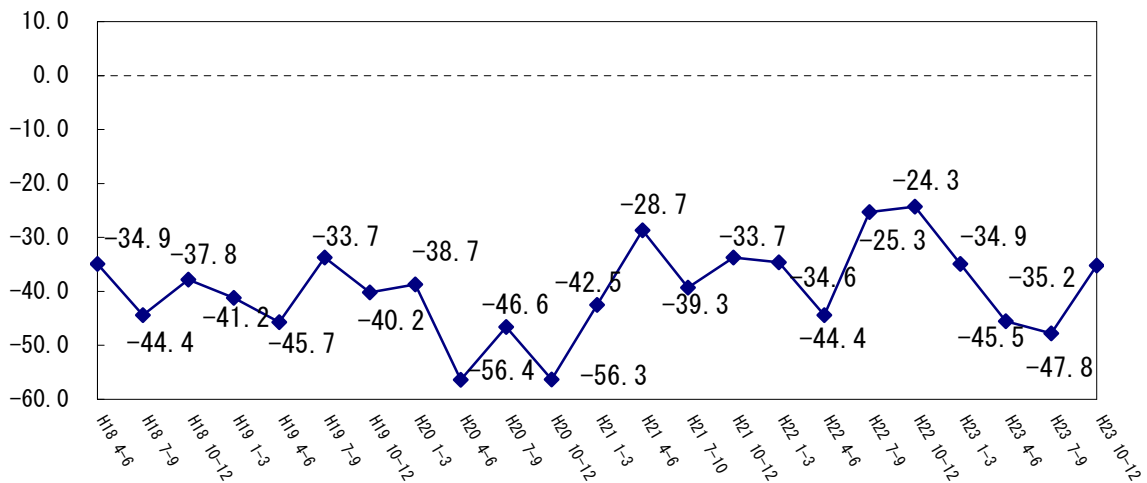
### (2) 今期の採算

【前年同期比】(平成22年10月~12月期の水準と比較した今期の採算水準)

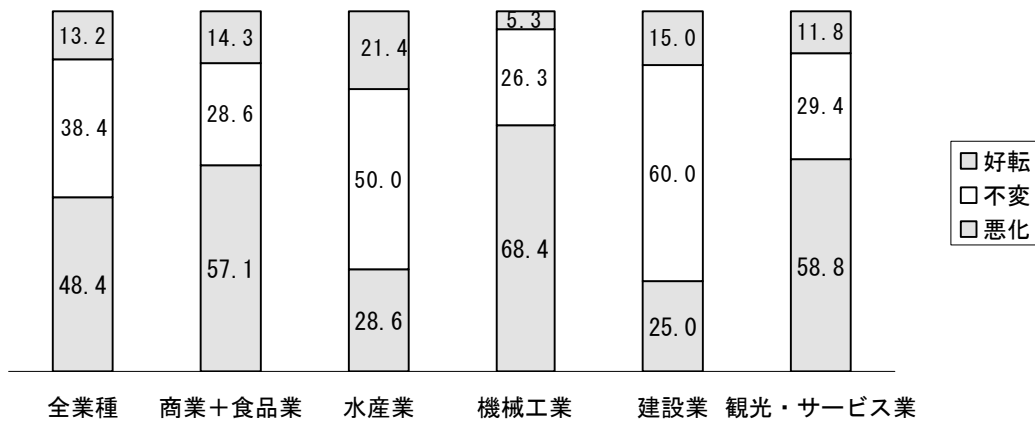
### 採算推移 (全業種平均D・I)

(好転-悪化)

前年同期比



### 今期の採算（前年同期比）



全業種平均でDI値△35.2〔前回調査時（平成23年7～9月期△47.8）より12.6ポイント改善〕

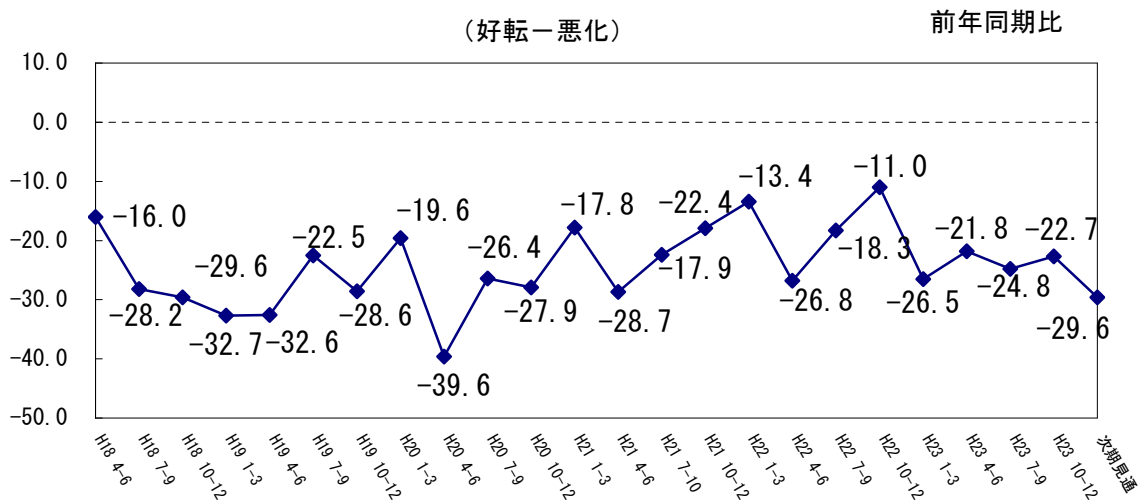
水産業・建設業が大きく改善。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回△6.7→△42.9〕、水産業〔前回△28.6→△7.1〕  
 機械工業〔前回△36.4→△63.2〕、建設業〔前回△56.3→△10.0〕  
 観光・サービス業諸業〔前回△42.1→△47.1〕

### (3) 今期の資金繰り

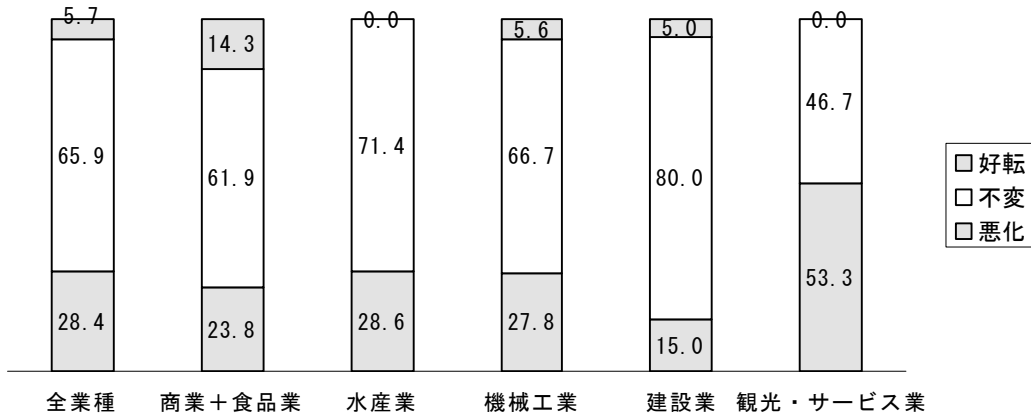
〔前年同期比〕（平成22年10月～12月期の水準と比較した今期の資金繰り）

### 今期の資金繰り（全業種平均D・I）





### 今期の資金繰り（前年同期比）



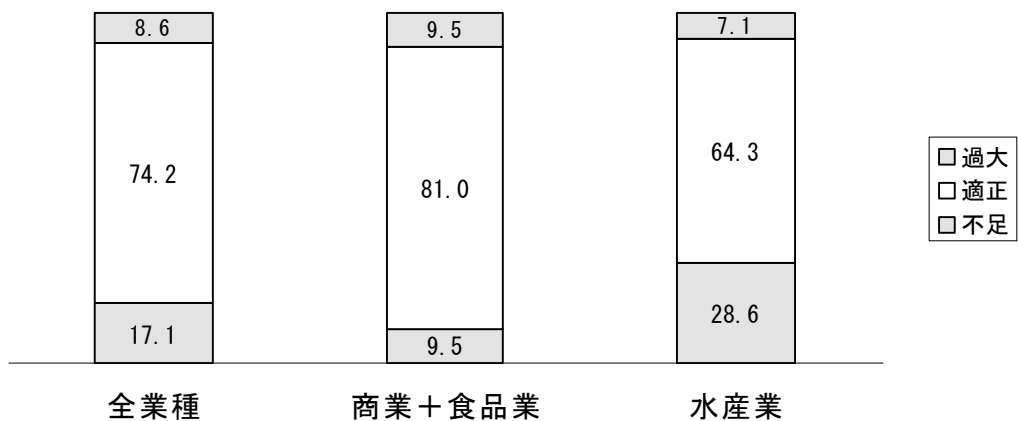
全業種平均でDI値 $\Delta 22.7$ 〔前回調査時（平成23年7～9月期 $\Delta 24.8$ ）より2.1ポイント悪化〕  
機械工業が大幅プラス転換。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回 $\Delta 13.3 \rightarrow \Delta 9.5$ 〕、水産業〔前回 $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 28.6$ 〕  
機械工業〔前回 $\Delta 27.3 \rightarrow \Delta 22.2$ 〕、建設業〔前回 $\Delta 18.8 \rightarrow \Delta 10.0$ 〕  
観光・サービス業諸業〔前回 $\Delta 27.8 \rightarrow \Delta 53.3$ 〕

### (4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成22年10月～12月期の水準と比較した今期の在庫水準）

### 今期の在庫水準（前年同期比）

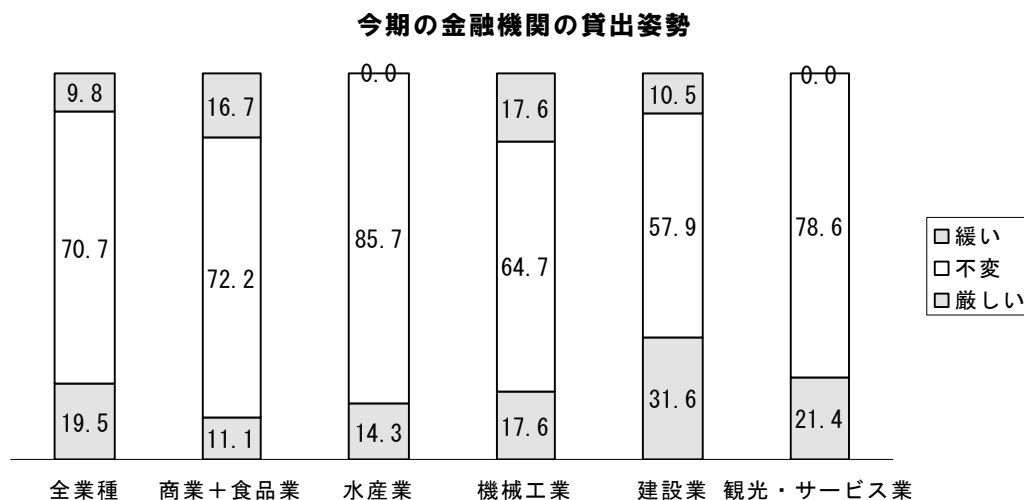


全業種平均でDI値 $\Delta 8.5$ 〔前回調査時（平成23年7～9月期 $\Delta 2.7$ ）より5.8ポイント在庫減少〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回 $0.0 \rightarrow 0.0$ 〕、水産業〔前回 $\Delta 14.3 \rightarrow \Delta 21.4$ 〕

## (5) 今期の金融機関の貸出姿勢

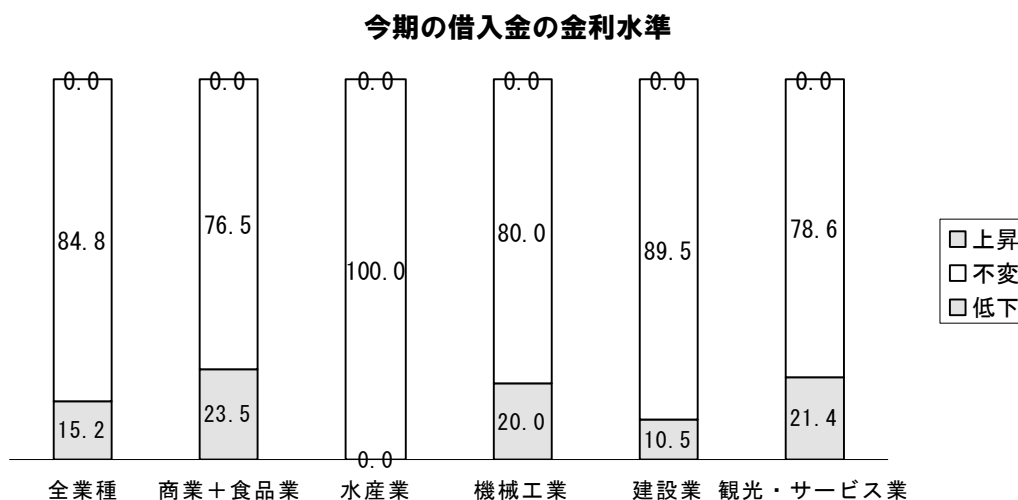
【前年同期比】（平成 22 年 10 月～12 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）



全業種平均で△9.7ポイント。商業食品業 5.6 水産業△14.3 機械工業 0.0 建設業△21.1 観光サービス業諸業△21.4。

## (6) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（平成 22 年 10 月～12 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

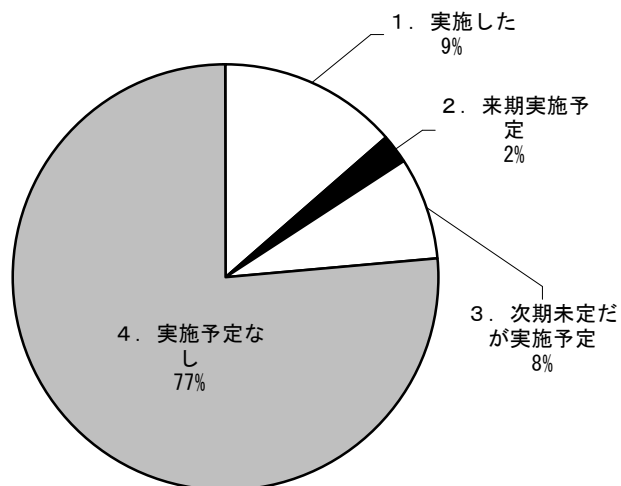


全業種平均で△15.2。商業食品業△23.5 水産業 0.0 機械工業△20.0 建設業△10.5 観光サービス業諸業△21.4。

## (7) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

設備投資の実施状況

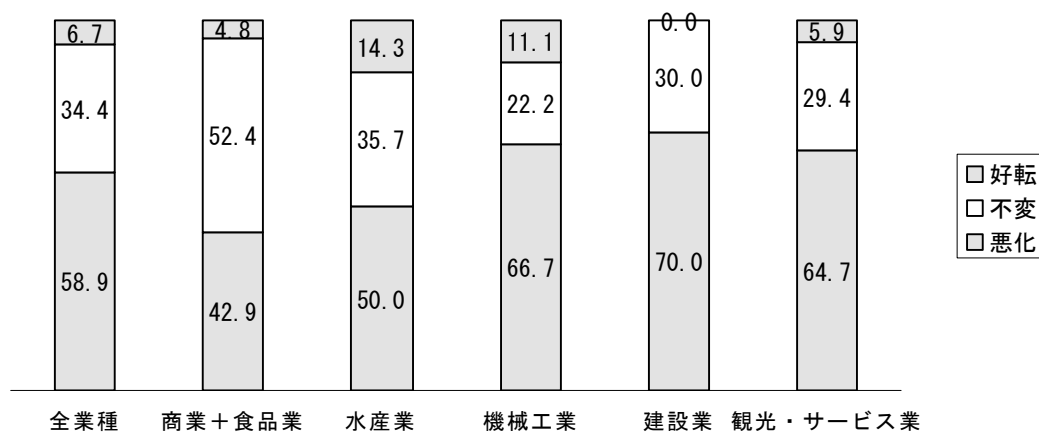


## 3. 来期の見通し

### (1) 来期の業況

【今期比】（平成 23 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の業況見通し）

次期の業況見通し（今期比）

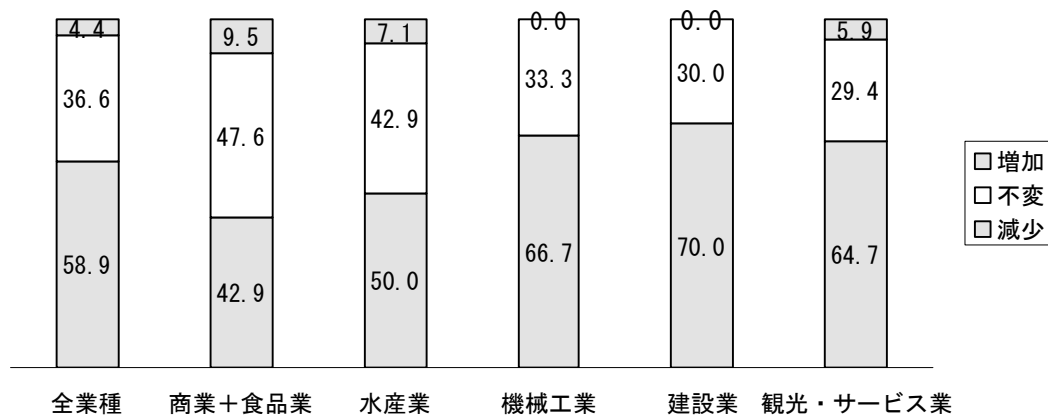


全業種平均 DI 値  $\Delta 52.2$  [今期の業況（前年同期比  $\Delta 30.8$ ）より 21.4 ポイント悪化の見通し]

## (2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 23 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

### 次期の売上高・生産高見通し（今期比）

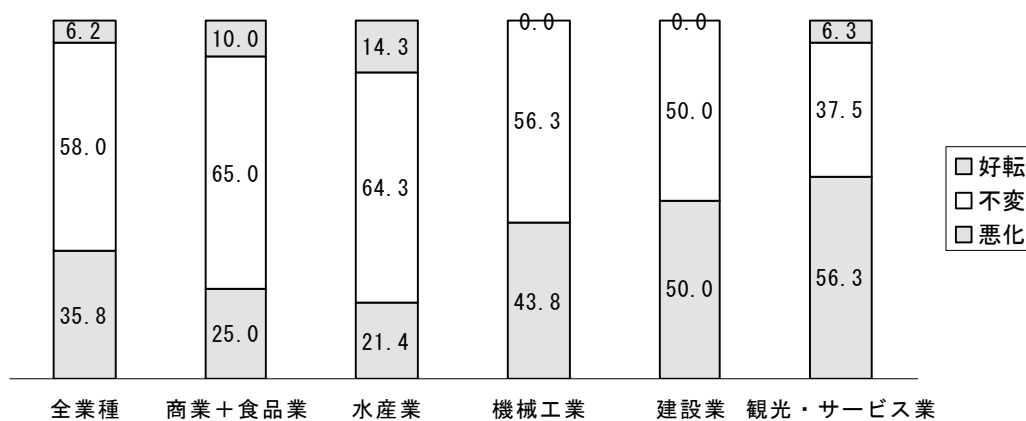


全業種平均 DI 値  $\Delta 54.5$  [今期の売上高・生産高（前年同期比 $\Delta 35.1$ ）より 19.4 ポイント悪化の見通し]

## (3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 23 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

### 次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均 DI 値  $\Delta 29.6$  [今期の資金繰り（前年同期比 $\Delta 22.7$ ）より 6.9 ポイント悪化の見通し]

### Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	△30.8	△42.9	△7.1	△47.4	△10.0	△41.2
	来期見通し	△52.2	△38.1	△35.7	△55.6	△70.0	△58.8
売上 D・I	今期実績	△35.1	△38.1	△28.6	△57.9	△10.0	△41.2
	来期見通し	△54.5	△33.3	△42.9	△66.7	△70.0	△58.8
在庫 D・I	今期実績	△8.5	△0.0	△21.4	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	△35.2	△42.9	△7.1	△63.2	△10.0	△47.1
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	△22.7	△9.5	△28.6	△22.2	△10.0	△53.3
	来期見通し	△29.6	△15.0	△7.1	△43.8	△50.0	△50.0
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	△9.7	5.6	△14.3	0.0	△21.1	△21.4
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	△15.2	△23.5	0.0	△20.0	△10.5	△21.4
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。